

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 471 事業名 移動環境向上事業（「城まち」一日周遊切符発行事業、中心市街地共同住宅誘導事業等）

[事業基本情報]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	2	中心市街地の活性化
施策	1	中心市街地の活性化
取組	3	回遊性の向上

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		商工費	
	目		まちづくり推進費	
	大事業		まちづくり推進事業	
	事項		移動環境向上事業	

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	H19	～	H25
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	和歌山市中心市街地活性化基本計画（H23年度終了）		
担当課・担当課長（Tel）	商工まちおこし課	野口滋	(435-1233)
関連課	観光課、和歌山城管理事務所		

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
		○	

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	移動手段に自転車を活用することで観光客や住民の回遊性の向上を目指す。	市内12箇所にレンタサイクル拠点を設置し、乗り捨て可能なレンタサイクルを市民や来街者に提供し街の回遊性の向上を図る。当事業は、和歌山県緊急雇用創出事業補助金を活用。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		一日周遊切符発行事業（特典施設との調整、切符の発行、広報活動） レンタル自転車実験事業（平成22年度本格実施に向けて調査・検討）	一日周遊切符発行事業（特典施設との調整、切符の発行、広報活動） 城まちeco観光レンタサイクル事業	一日周遊切符発行事業（特典施設との調整、切符の発行、広報活動） 城まちeco観光レンタサイクル事業	城まちeco観光レンタサイクル事業 プロポーザル方式によりユタカ交通株式会社と委託契約	城まちeco観光レンタサイクル事業 随意契約によりユタカ交通株式会社と委託契約

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	614	504	25,473	23,485	29,150	26,068	24,371	19,672	20,849	
伸び率（%）	-	-	4048.7%		14.4%		-16.4%		-14.5%	
人件費	常勤職員	5,037	5,576	5,037	5,464	5,037	5,869	4,080	4,090	4,090
	非常勤職員							121	121	121
	小計	5,037	5,576	5,037	5,464	5,037	5,869	4,201	4,211	4,211
国庫支出金										
県支出金	300	0	24,794	23,116	28,472	25,770	24,371	19,672	20,849	
市債										
その他										
一般財源（税等）	314	504	679	319	678	298				
所要人数	常勤職員	0.66		0.66	0.72	0.72	0.78	0.55	0.55	0.55
	非常勤職員							0.06	0.06	0.06
主な予算内訳	城まちエコ観光推進事業委託料 20,849千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	中心市街地活性化基本計画事業の進捗率					年度目標値	60	64	64	
						実績値	51	58	59	
		単位	%	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	85.0%	90.6%	92.2%	
活動指標	自転車のレンタル台数					年度目標値			10,000	10,000
						実績値			7,907	
		単位	台	全体目標値	10,000	全体目標達成度			79.1%	
成果指標	城まちハッピーロード通行量					年度目標値			22,500	
						実績値	11,226	8,324	9,249	
		単位	人	全体目標値	22500	全体目標達成度			41.1%	
成果指標	中心商業地通行量					年度目標値			26,500	
						実績値	19,613	17,463	17,107	
		単位	人	全体目標値	26500	全体目標達成度			64.6%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	○ 見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実		○		
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	観光客と住民の利便性向上を目指していく。
「見直し」 「改善」案  ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	和歌山県緊急雇用創出事業補助金を活用できなくなると、現在のような事業体系は難しい。利用者負担額増額も検討していく。それとともに、シルバー人材センター、市営駐輪場指定管理者へ委託し、レンタサイクル業務をしてもらう方法も、所管課と協議したい。また、初期投資はかかるが、以降の人員費削減が見込めるので無人サイクルポートシステムをつくりあげることも視野に入れていきたい。